

TPP交渉参加の正式表明について

安倍首相の表明を歓迎したい。TPPは単に9カ国の枠組みに止まらず、FTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）をはじめ、新たな世界の経済制度を構築していくプロセスとなる極めて重要な協定である。資源に乏しく世界に市場を求めなければならない日本が、その作業に積極的に加わることは、自由主義経済に与する経済大国としての責務である。しかし農業分野での聖域確保にこだわり過ぎ、協定締結に至らないとなると問題だ。政府には、TPP交渉に関係なく日本の農業を守ることも農業の成長産業化に向けて取り組むべきである。

わが国の持続的な成長を見据えたうえで、真に公正な市場を作り上げるために、日本がリーダーシップを発揮し、交渉に臨んでいただきたい。

以 上

平成25年3月15日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄